

■こども・子育て審議会からの意見 (障がい児関連抜粋)

【計画全般】

【計画の理念等】 <参考資料4 P20>

NO.	会議名	意見(要旨)
1	4/25専門委	障がいのある子どもたちや、発達障がいの傾向がある子どもたち、外国籍の子どもたち、就労の支援が重要なひきこもりの人々、あるいは保護者も含め、すべてで“福岡市”である。そういう視点を今後もしっかり持ち続けながら、議論を進めていきたい。

【目標1:子どもの権利を尊重する社会づくり】

3 社会的養護体制の充実

(2) 専門的ケア機能の強化 <参考資料4 P36, 参考資料5 P14~16>

NO.	会議名	意見(要旨)
2	5/30 専門委員会	150万人規模の都市で情緒障害児短期治療施設がないのは問題。ほかの地域の施設に入所することになるし、医療的・心理的・専門的なケアが必要であり、ぜひ情緒障害児短期治療施設をつくってもらいたい。

4 障がい児支援

(2) 療育体制の充実強化 <参考資料4 P38>

NO.	会議名	意見(要旨)
3	5/30 専門委員会	通園療育を受けるまでではないが発達に遅れがある子どもについて、保育に欠ける場合は保育園で適切な保育を受けられる(50ページ)が、保育に欠けず幼稚園に行っている場合の支援が十分でない。幼稚園への補助金が1人5万円、通園施設のグループへの参加が年10回であり、幼稚園向けの電話相談や訪問支援も対応人員が1名で日程がなかなか取れないと聞く。支援の充実が必要であり、回数やクオリティーの問題などを明記する必要がある。また、(県のことではあるが)学校法人の場合は県の補助金が入るが、学校法人以外は補助金が入らないので格差が生まれている。

(3) 発達障がい児とその家族の支援 <参考資料4 P38>

NO.	会議名	意見(要旨)
4	2/4総会	計画の対象を若者まで拡大するのは、非常に大切である。成人すると、困っていることには変わりなくても、相談できる場所が少なくなる。児童相談所でも、発達障がいについての相談の比率が増えているが、成人後も支援が必要な人がかなりの数にのぼるのではないかと。地域の中で、複数のいろいろな立場の人が関わっていくことが非常に重要になる。例えば、ボランティア制度の導入なども視野に入れた議論ができないか。
5	2/4総会	発達障がいは、少年期や成人してからも、長いスパンでの相談体制や支援体制が必要である。未就学児に限らない取り組みを明確にしていきたい。
6	2/4総会	目標1の中で「発達障がいに対する支援」といった言葉(項目)を明記できないか。
7	5/30専門委員会	「発達障がい児とその家族の支援」というタイトルは、「発達障がい児への支援」と「障がい児の家族への支援」に分ける方がよい。発達障がい児の家族の支援も必要だが、それ以外の障がいがある子どもの家族の支援も必要である。37ページの(1)に「家族も含めた支援」とあり、主な事業の「就労促進」には教育と福祉の連携も入っているが、障がいがあり、ひとり親で、貧困もあり、虐待もありというように(問題の)重複が重複していて、障がい児に対しても家庭に対しても支援が必要な場合も多い。また、きょうだいも問題を抱えていたり、療育施設に通うために仕事ができないなどの問題もある。教育と福祉の連携やスクールソーシャルワーカーの活用など、取り組んでいることは多いと思うので、(項目を)別建てにしていきたい。

【目標2:安心して生み育てられる環境づくり】

1 幼児教育・保育の充実

(3) 多様な保育サービスの充実

<参考資料4 P49>

NO.	会議名	意見(要旨)
8	2/4総会	ひとり親家庭が増え、親も働く中で、集団保育になじまない障がい児たち、療育を必要とする子どもの保育についての相談が非常に増えている。「保育の充実」の中で、ひとり親世帯の場合等も含め、療育を必要とする子どもの保育のこれからのあり方等も含めて検討してもらいたい。
9	7/4 専門委員会	障がいを持った子どもがどのように保育所や小学校に通うのか。(働く親のための保育サービスの充実という視点だけでなく)子どもの送り迎えの仕方にも目を向けてもらいたい。

【目標3:地域における子育ての支援と健やかな成長を支える環境づくり】

5 子ども・若者の社会的自立に向けての取組

<参考資料4 P73>

NO.	会議名	意見(要旨)
10	4/25 専門委員会	障がいがある子どもや配慮が必要な子ども、外国文化の中で生きている子どももいる。多くの悩んだ子どもが高校を中退する現実があり、その多くは、引きこもりになるなど社会に戻ることができていない。また、部分的な発達障がいがあれば、大学院を出ても就職できない状況もある。